

介護支援専門員意見書

入所対象者氏名	
---------	--

1. 本人の状況					
要介護度	5	4	3	2	1

2. 主たる介護者・家族等の状況					
①世帯の状況	独居	高齢者世帯	その他		
②介護者の性別・年齢・続柄	男	女		歳	続柄
③介護者の介護負担	重い	やや重い	軽い	なし	
④介護者が障害や疾病	介護困難	多少介護可	介護可能	なし	
⑤介護者の就労	8時間以上 高齢で就労不能	4～8時間	4時間未満	なし	
⑥介護者が育児、家族が病気	常時の育児・看病	半日育児・看病	随時育児・看病	なし	
⑦介護者の介護の関わり方	介護拒否	非常に消極的	やや消極的	普通	
⑧他の同居介護補助者	ほとんどなし	随時あり	常時あり	続柄	
⑨別居血縁者介護協力	ほとんどなし	随時あり	常時あり	続柄	
⑩近隣者等の介護協力	ほとんどなし	随時あり	常時あり		

3. 備考記入欄	
----------	--

意見書作成日	平成 年 月 日
所属事業所	
意見書作成者	印

(裏面)

介護支援専門員意見書の記入上の留意事項

様式第3号（介護支援専門員意見書）における申込者の状況判断を行う場合の留意事項

1. 評価において印のない項目は評価対象外となるため、該当する項目についてすべてに印をつけること。
2. 主たる介護者、家族の状況に係る判断基準
 - ④介護者が障害や疾病
 - ・ 「介護困難」は、介護者が障害や疾病のため要介護者の排泄、入浴、移動、着替え、食事などADL全般の援助が困難な場合
 - ・ 「多少介護」は、介護者が障害は疾病のため2つ程度のADL援助ならばできる場合
 - ・ 「介護可能」は、障害や疾病はあるが介護可能な状態である場合を目安とする。
 - ⑧他の同居介護補助者
 - ・ 「随時あり」は、週1～3日程度
 - ・ 「常時あり」は、週4日程度以上ある場合を目安とする。
※1日当たりの目安は2時間程度以上又は頻回以上とする。
 - ⑨別居血縁者介護協力
 - ⑩近隣者等の介護協力
 - ・ 「随時あり」は、週1～3日程度
 - ・ 「常時あり」は、週4日程度以上ある場合を目安とする。
3. 介護支援専門員が関わっていない（居宅サービスを利用していない）場合は他の適当な者の意見に代える事ができる。